

川崎医科大で一般入試 県内トップ切り 1382人挑む



試験開始前に職員から注意事項の説明を受ける受験生

県内大学のトップを切り、川崎医科大（倉敷市松島）で26日、一般入試が行われ、1382人が1次試験に挑んだ。

英語、数学、理科、小論文の4科目。受験生たちは職員から注意事項を告げられると、開始の合図と同時に問題に取り掛かった。定員約50人に対し、受験者数は1199人（前年比81人増）で、競争率は約24倍。これ

とは別に、卒業後に特定の地域で一定期間医師として働くことを条件にした「地域枠」が、岡山（定員約10人）、静岡（同10人）、長崎（同4人）の3県分設けられ、計183人が受験した。

1次試験の結果は28日に発表。通過者は31日、2月1日に面接による2次試験に臨む。合格者は同5日に発表される。（山本真慈）